

東京江東ロータリークラブ

2024~2025年度 テーマ

ロータリーのマジック

RI 会長 ステファニー A. アーチック
地区ガバナー 石川 彌八郎

ROTARY PRIDE

～再発見・新発見～
クラブ会長 大澤 栄一

今日の卓話

次回例会案内

No. **17**

第2923例会
2024年12月17日号

年末家族会
バードマン
イリュージョンマジックショー

各委員長報告

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

12/10 会員数 21名中 11名
出席率 55.00%
11/12 訂正出席率 なし



会長・幹事報告



- 23日(土) 青少年交換茶道稽古【裏千家今日庵 東京道場】
☆エードラさん
- 26日(火) 休会
- ※12月の予定「疾病予防と治療月間」
- 3日(火) 休会
- 10日(火) 理事会・例会 ・クラブ年次総会 ・次年度理事選出
- 14日(土) ロータリー研究会1日目【パシフィコ横浜】
鈴木会員・米山奨学生カンウヒョン君
・青少年交換茶道稽古 ☆エードラさん【裏千家今日庵 東京道場】
- 15日(日) ロータリー研究会2日目【パシフィコ横浜】
鈴木会員・米山奨学生カンウヒョン君
- 17日(火) 年末家族会【イースト21東京】

ニコニコボックス



大澤会長：江東ロータリーの大先輩、大山さんよろしくお祈いします！！

堀幹事：大山様、本日は楽しみにしています。

菅澤君：大山様のお話を楽しみにしています。

伊藤(三)君：来週は年末家族会です。楽しい一時にしましょうね！

小嶋君：大山さん、卓話宜しく！

小野君：大山様、本日の卓話楽しみにしております。

河西君：大山さん卓話楽しみにしています。

熊川君：本日もよろしくお祈いします。

大屋君：大山様お話を楽しみにしています。

野村君：大山さん、本日は宜しくお祈い致します。

合計 51,000 円
累計 856,000 円



<委員会報告・その他>

小野職業奉仕委員長：千客万来施設見学会について
次回例会は、12月24日(火)最終(昼例会)となっております。
※欠席される方は、例会前日の12時までに、事務局までお知らせください。
※次回例会は、年内最終12月24日(火)がございませう。お間違えの無いようどうぞよろしくお祈いいたします。

【配布物】・週報 no.17【回覧】・なし



2024年11月のロータリーレポート【1ドル153円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737

元ロータリー財団親善奨学生
ロータリーフェローズ東京幹事 **大山裕子氏**



私がロータリー財団奨学金を頂いたのは30年も前ですが、当時まだ若かった私の人生の大きな転機となりました。幼い頃初めて見た外国人にびっくりし、この見たこともない外見で、聞いたこともない言葉話す人とコミュニケーションをとるにはどうしたらいいの？という思いが、成長してから英語を学びたい！留学したい！という大きな夢になりました。

猛反対の両親を必死に説得して1988年北米の大学に留学し、教育学と心理学を学び1992年に無事卒業し帰国しました。大学院でさらに学びたくなりましたが、これ以上両親に負担をかけられないと思った私はどこかに奨学金制度がないか必死で探して見つけたのがロータリー財団奨学金でした。当時不安でいっぱいだった私の心に差し込んだひとすじの希望の光でした。

自分の住んでいる地区からの推薦が必要とのことで東京江東ロータリークラブへ緊張しながら電話をすると大変喜んで下さり、熱心に応援して下さいました。見ず知らずの学生にここまで親切にして下さることに驚きました。選考試験のためにロータリークラブの歴史、理念などを勉強する中に、奉仕の精神、国際理解促進が中核をなすことを知り感銘を受け、応援して下さいることに深く納得しました。無事選考試験に合格。喜んで送り出して下さった東京江東ロータリークラブの皆様の笑顔は今でも覚えております。これが私の最初のロータリーモーメントです。

1994年、アメリカのボストン大学大学院カウンセリング心理学修士課程に入学しました。

ボストンに到着後、奨学生のためのレセプションがあり、そこでホストロータリアンを紹介されました。留学先にホストロータリアンがいて下さる制度に感激しました。

4LDKのアパートに3人のルームメイトと住み、授業の一環として3歳未満で発育が遅れのある子どもたちを支援する施設でインターンをしました。また、ボストン大学宗教学部教授が杉原千畝氏についての書籍を執筆していて、日本でのイ

ンタビューのテーブル起こしのボランティアも経験しました。ボストンは私のキャリアの出発点でした。留学の翌年、言語や文化の壁のため支援を受けにくいアジア系移民難民に特化したDV被害者支援団体に就職することができました。カウンセリング専攻ということもありますが、ロータリーの社会奉仕の理念が大きく影響していたと感じます。海外での就職は奨学金を頂いていなければ実現できなかったことです。これも私のロータリーモーメントです。

仕事を通して女性の権利が守られるよう代理人的な役割も果たす通訳者の重要性和責任を実感しました。難民女性たちの話に心を痛め、アメリカでの生活の苦勞を知り、難民を生み出す原因に思いをはせることでグローバルな視野でローカルに活動するロータリーの理念を思い出しました。

2009年に帰国後、ボストンでの経歴を評価して頂き、翌年大阪に開設された国連女性機関 UN WOMEN 日本事務所に専属通訳兼秘書として就職しました。同時にボストンでの経験を学術的にとらえなおすために大阪大学大学院の国際協力学修士課程に入学しました。ロータリー財団奨学金制度の恩恵を受けることができたからこそこのキャリアパス、進学でありました。また、ボストン時代に培った通訳スキルも人與人、ひいては国と国との大切なコミュニケーションに必要なもので、国際理解促進の役に立ちたいと願った、これも私のロータリーモーメントでした。

国連女性機関 (UN WOMEN) 日本事務所の所長はジェンダー平等先進国のアイスランド出身で彼女から多くのことを学びました。私は彼女の通訳に加え、NY本部からの発信文書などの翻訳もしました。日本政府、国連機関駐日代表など、とにかく開設当初は挨拶回りから始まり、当時の国連事務総長パン・ギムン氏にもお会いすることができました。ロータリー財団奨学金を頂いたからこそ実現したことです。これも私のロータリーモーメントです。

2013年大阪大学大学院人間科学研究科国際協力学修士課程を卒業し、国連女性機関を退職、現在は東京で通訳・翻訳の仕事をしています。

ロータリーフェローズ東京幹事としては、今月の11月に開催された日本ロータリー学友会総会2日目に国立科学博物館で行われたロータリー学友の真鍋真副館長による講演の司会をさせて頂きました。

通訳によって言葉の壁を越えて人々が理解しあえた時の充実感、それを可能にしてくれたロータリー財団奨学金制度の原点に返らせてくれます。街中やニュースなどでロータリーの名前を目にする時、私の心は感謝の気持ちで熱くなります。奨学金を頂いた身として恥ずかしくない生き方をしようというリマインダーです。これがこの先もずっと続いていく私の「ロータリーモーメント」です。